



### 1/25 この冬一番の寒さ

この冬、一番の寒さにびっくりです。中央棟の軒下に氷柱（つらら）がきれいに並んでできていました。中央棟は、屋根に樋がありません。梅雨の時期には、降りしきる雨が軒下から降り注ぎ、「雨のカーテン」になります。

この日は、つららがきれいに並んでできていました。朝からの冷え込みが厳しかったので、納得しましたが、このような日にもかかわらず参観日においでくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

早速なぎさっ子たちは、このつららを見て行動開始。2年生の数人が雪の玉をつかって、下から当てて落とそうと大さわぎ。手で触って見たかったのでしょうか？槍や剣にしたかったのでしょうか？いずれにしても、いつもと違う何かを見つけたらすぐに気づいて行動を起こすとは、流石なぎさっ子たちです。



つくづく思うのですが、なぎさ公園小学校は、自然の営みに気づくように造られていて、まさになぎさっ子は、ねらい通りに自然から色々なことを学んでいくのです。

思い返すと入学前にいつもこんなお話をしてきました。

「学校までの道のりで見えるもの、聞くもの、触るもの子どもたちにとっては発見の数々。親子で一緒に歩きながら見つける喜びは安心感に。学校までの道のりが楽しみになるような言葉かけがあれば、なお、うれしいことです。道順を覚えるだけでなく、一緒に歩いてみると色んな発見があるものです。朝焼けの美しいこと、桜並木のきれいな草花、鳥のさえずり、夕焼けの空など、自然から学ぶことを大切に  
する学校にこれから通う子どもたちです。」と・・・



確かに、正門前まで歩いてきた道すがら、発見したものを手渡してくれるなぎさっ子たちです。

### 氷柱（つらら）

氷柱（つらら）とは、建物の軒下や岩場などから棒状に伸びた氷のことで、軒下などに水滴が垂れてできる氷の柱をさしています。つるつるとして光沢のあるものを「つらつら」と呼んでいたことから派生し「つらら」と呼ばれる

### 2月の生活目標

- ・自分のよいところを表現しよう（なぎさ祭）
- ・友だちと協力して活動しよう（なぎさ祭）

### 1/25 参観日2年生「絵画造形」

様々な立場の人と意見を出し合い、互いに尊重し合いながらよりよい意見を探そうとする態度を育てることを目標として対話型鑑賞の授業がおこなわれていました。保護者の方にも体験してもらい、考えを伝え合いました。



ゆきだるま キラキラしてて かわいいな  
1年 しょうま

ゆきがっせん 当てて当たって 楽しいな  
2年 みき子

白い雪 星の光と おにごっこ  
3年 弥音

初雪だ 外に飛び出す 頬染めて  
4年 夏

なぎさ俳句会・冬季より・・・